



感動・感動・感動の体育大会

校長 小木曾敏樹

5月30日、雲ひとつない晴天の中、小泉中学校体育大会を行いました。暑い暑い1日でしたが、生徒たちの想いは気温以上に熱かったと言えるのではないだろうか。

閉会式の後に行われた解団式。リーダーたちが熱い思いを語った。どんな思いで頑張ってきたのか、この取組で何を得たのか、涙と共に語るリーダーたち。そして、職員もまた涙をこらえて、または涙を流し語った。頑張った者だけが流すことができる涙を多くの生徒たちが流した。

解団式の後には、各学級での時間。涙はもう乾いて笑顔で互いの頑張りをたたえ合うクラスもあれば、さらに号泣しているクラスもある。心通わせ一つのことを成し遂げることが、いかに素晴らしいことかを、誰もが知った瞬間。

午後4時近く、真上から照りつけた日差しは西に傾き、生徒一人一人の影法師が長く影を落とすころ、チームリーダーたちの指示でその影が一つの輪になった。全校約500名の生徒が一つの輪になり肩を組んだ。体育大会のラストは全校生徒による校歌の大合唱。輪になることで生まれた歌声の反響は、今まで聞いたこともない大合唱に感じた。グラウンドに響き、校舎や体育館に反響してさらに大きく感じる。

その輪の中に全教員が入られ、「ありがとうございました。」と謝辞をもらった。

こんな終わりは初めてだ。全校が一つになり、幕を閉じる体育大会。チームリーダーたちの想いと、全校生徒の想いが一つになった瞬間だ。そして、最後はチームリーダーによるこの言葉で締めくくられた。

「これで、チーム小泉中の体育大会を終わります。ありがとうございました。」「ありがとうございました。」
チーム小泉中・・・約500人のメンバーが新しく加わった。

